山 行 報 告 書

作成：2009 年 12 月 20 日
愛知岳連　岡崎山岳会

山名[山域]	御嶽山 [木曾御嶽]	目的[方法]	雪上訓練
期間	2009 年 12 月 12 日(土)～13 日(日)	形態	1 泊 2 日(テント泊)
参加人数	4 人		

行動記録：

◇12/12 日(土)　曇り時々小雪、微風

岡崎市民病院Ｐ (5:00) = 0:05 = 岡崎ＳＡ (5:05) = 1:00 = 恵那ＳＡ (6:10　6:30) = 0:05 = 中津川ＩＣ (6:35) = 1:25＝19 号元橋 (8:00) = 1:00 = 御岳ロープーウェースキー場山麓鹿瀬駅１５７０ｍ (9:00 10:00) [\1300]+ 0:15 + ゴンドラ山頂飯森駅２１５０ｍ (10:15 10:30) -1:00 – 森林限界２３５０ｍ (11:30) TS 設営 【雪上訓練】 (12;30～15:30) -就寝(19:00)

◇12/13 日(日)　晴れ　無風

起床 (5:00) [雪上訓練] (7:00～12:00)　TS 撤収 (13:30) - 2:00 - 御岳ロープーウェースキー場山麓鹿瀬駅(15:30 16:00) = 0:20 = 木曽温泉 (16:20 17:30) = 恵那峡ＳＡ (19:10 19:50) = 1:00 = 岡崎市民病院Ｐ(20:50)

概念図：

メモ

御岳ロープーウェー片道
￥１３００
木曽温泉￥５００

乗鞍岳

御嶽山 (山頂方面)

穂高連峰

日誌：

御岳ロープーウェー駐車場まで道路に雪は無く順調に到着。他の山岳会の方々も多数見うけられる、ゴンドラに乗り込み 15 分程でゴンドラ山頂飯森駅に着く、つぼ足で登り始めるが既にトレースはついていて歩きやすい、休憩をとりワカンを装着トレースをはずしてラッセルの訓練をするが、膝くらいまで埋まり思うように足が前に出せない、１０ｍもラッセルすると息が上がり先頭を交代してもらう、体力不足を痛感する。テン場に着きほっとするも直ぐに設営場所の整地、トイレ作り、レジ袋に雪詰め等々全てが初体験で忙しい。午後からはビーコン操作の実践練習、弱層テスト、埋没体験では雪の重さや息苦しさを体感でき、生存には 15分以内の探索が必要との事に納得する。プローブ探索では埋没者の肉の感触が手によく伝わりました。初日の訓練は終了しテン場に戻る、夕食は雪山定番のペミカンを頂いた、お酒も入り 19 時頃就寝。 翌日は 5 時起床、テントを出ると朝日に輝く御嶽山頂や乗鞍岳、北穂、前穂高岳が素晴らしく綺麗に見え、雪山の美しさを堪能する。テン場からハーネス、アイゼンをつけ２５００ｍくらいの所まで登高する。トラバースのアイゼン歩行、ピッケルワーク、滑落停止技術、スタンディングアックスビレイ等を実践で教えてもらう。訓練を終え、おしるこを頂く、冷えた体にはとてもありがたい、テン場に戻り撤収、下山はゴンドラを使わずにまだ閉鎖中のゲレンデをひたすら下る、途中シリセードで滑ったりして楽しい。帰路、木曽温泉に寄り恵那峡ＳＡで夕食をとり渋滞も無く岡崎市民病院Ｐに到着。

感想：

雪山登山に必要な技術、テントでの生活技術を教えて頂き大変ありがたく思います。全ての訓練が自分の身を守る為の技術であり、皆さんの真剣な表情に自分も緊張感をもって取り組めたと思います。また装備の重さ、ラッセルなど体力がないと雪山は楽しめないなあ～と思いました。今後も経験を重ねて技術を身につけていけたらと思います。